石巻専修大学
「石巻専修大学」ホームページ https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/

石巻専修大学
広報係
〒986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7717（直）

最新の情報は大学HPで。

2020年度学位記授与者数

学部	学科	人数
学部 理工	食環境	15
	生物科	59
	機械工	20
	情報電子工	17
	小計	111
学部 経営	経営	82
学部 人間	人間文化	30
	人間教育	29
	小計	59
合計		252

※学期末卒業者を含みます。

大学院	研究科	専攻	人数
理工学	修士課程	物質工学	0
		機械システム工学	0
		生命科学	2
	博士後期課程	物質機能工学	0
		生命環境科学	0
	小計		2
経営学	修士課程	経営学	1
	博士後期課程	経営学	0
	小計		1
合計			3

2020年度 学位記授与式

学び生かし、社会の諸問題解決を

尾池学長から学部総代に学位記を授与

コロナに負けず学業全う

2020年度の学位記授与式が3月20日、本学体育館で行われた。大学院修了生、学部卒業生合わせて255人が思い出を胸に学窓を飛び立った。

修士課程総代と学部総代に尾池守学長から学位記が授与された。続いて、川島記念学術賞の9人に日髙義博理事長から表彰状が、尾池学長から記念メダルが贈られた。

尾池学長は式辞で「学生生活最後の年をコロナ禍に翻弄されながらも、負けずに学位を勝ち取ったことは称賛に値する」と述べた後、「ゼミや卒業研究を通じて、自分なりの最善の答えを見いだす方法を学んだことと確信している。大学で学んだことを生かし、社会の諸問題に取り組んでほしい」と語りかけた。

大学院修了生を代表して大友將弘さん（経営学研究科経営学専攻）と髙橋直也さん（理工学研究科生命科学専攻）、学部卒業生を代表して渡邉満帆さん（経営学部経営学科）と二部聖矢さん（理工学部生物科学科）が謝辞を述べた。

渡邉さんは「ここでたくさんの愛情を受けたように、社会や人に温かみを与えられる大人になりたい。自分を自分らしく表現できる色鮮やかな社会をつくっていく」と力強く決意を語った。

二部さんは「在学中に学び、経験したことのすべてが糧となり自信となった」と大学生活を振り返り、「石巻専大で培ったものを生かし、卒業後は社会の一員として責任を果たしたい」と誓った。

今年度の学位記授与式は、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、午前の部と午後の部に分けて行われた。困難に見舞われながらも学業やスポーツに励み学位を取得した卒業生・修了生たちは、晴れやかな表情で新たな一歩を踏み出した。

4年間をともに過ごした友達と

定年教員

長年にわたり研究や学生の指導に力を尽くされた教員4人が今春、定年退職される。

※氏名、所属学科、主な担当、主な役職、在職年数。

【理工学部】坂田　隆教授
食環境学科、「栄養学」、理工学部長、学長、33年

亀山　充隆教授
情報電子工学科、「情報システム概論」、5年

【人間学部】照井　孫久教授
人間教育学科、「社会福祉論」、7年

山崎　省一教授
人間教育学科、「健康科学と身体運動」、人間学部長、32年

川島記念学術賞に9人

学術の分野で顕著な成績を収めた学生に対し、卒業にあたって授与される「川島記念学術賞」の2020年度受賞者は理工学部4人、経営学部3人、人間学部2人の計9人。学科に続いて所属研究室・ゼミ、出身校。

◆理工学部◆

海谷　空美さん
学部総代・食環境学科、鈴木英勝研究室、山形県上山明新館高

二部　聖矢さん
謝辞・生物科学科、太田尚志研究室、福島県田村高

早坂　友浩さん
機械工学科、島田了八研究室、宮城県佐沼高

武藏　開さん
情報電子工学科、本田秀樹研究室、岩手県大船渡高

◆経営学部◆

結城　湖々さん
学部総代・経営学科、茂木克昭ゼミ、宮城県古川黎明高

渡邉　満帆さん
謝辞・経営学科、浅沼大樹ゼミ、岩手県大東高

千葉　菜々香さん
経営学科、浅沼大樹ゼミ、岩手県黒沢尻北高

◆人間学部◆

遠藤　なぎさん
学部総代・人間文化学科、庄子真岐ゼミ、宮城県石巻西高

佐藤　天音さん
人間教育学科、有見正敏ゼミ、岩手県専修大学北上福祉教育専門学校

竹灯籠で「未来」

大震災10年　鎮魂イベント

東日本大震災から10年となる3月11日、本学は「竹こもれび～鎮魂の祈りと感謝のメッセージ～」と題したイベントを開催し、その模様をライブ配信した。

メイン会場の5号館学生ホールには、震災犠牲者への鎮魂と支援者への感謝を表した竹灯籠約800基、三角灯籠323基を飾り、暗闇に「未来」の文字を浮かび上がらせた。本館正面玄関では、震災の翌年に設置された祈念モニュメントを囲むように、雪の結晶をデザインした大型の竹灯籠などを展示。静かにともる灯籠の明かりに、震災の記憶や教訓を風化させないとの思いを込めた。

暗闇に浮かび上がる「未来」の文字

展示した竹灯籠は、大学演習林から伐採した竹を使ってすべて手作りした。東日本大震災当時、本学敷地内に数多く設置されたテントを模した三角灯籠の制作には市内の小中学生、国際交流協定を結ぶ米国のランドルフ・メーコン大学の学生や教職員も協力した。

イベントは、経営学部の庄子真岐ゼミが主催。ライブ配信の進行や撮影もゼミ生が手がけた。司会を担当した阿部美奈さん（経営3・宮城県松島高）は「私たち若い世代が震災の教訓や思いを伝えていく必要がある。どんなことにも負けずに、これからも未来に向けて歩んでいく」と力強く決意を語った。

動画はISUムービー（QRコード参照）で公開している。

学生表彰

11人、9団体に

2020年度石巻専修大学学生表彰式および専修大学校友会学生奨励賞授与式が2月24日に合同で開催された。

高度な資格取得や課外活動などの分野で活躍した個人・団体を表彰する学生表彰には11人、9団体（表参照）が選ばれ、尾池守学長らから表彰状や記念品などが授与された。特別賞に、石鳳祭実行委員会の村上研志郎さん（経営3）が選ばれた。そのほか高度資格取得者16人、文化部門の1団体、スポーツ部門の6人と1団体がキャリア支援奨学生として表彰された。

スポーツおよび文化活動において優れた成績を収めた個人・団体に奨励金が贈られる校友会学生奨励賞には3人、1団体が選ばれた。

《個人部門》

最優秀賞	今野 優（理工3）	ロボット研究会
優秀賞	齋藤 凜（経営2）	女子競走部
	門脇 瑠太（経営3）	硬式野球部
敢闘賞	千葉 彩有花（人間3）	女子競走部
	戸澤 愛織（人間2）	
	佐藤 亜海（経営2）	
	フォックス 真島 新菜（経営1）	
奨励賞	長谷川 日菜（経営1）	女子競走部
	鈴木 拓人（経営4）	硬式テニス部
	森 春貴（経営3）	
	村山 大生（経営4）	陸上競技部

《団体部門》

最優秀団体賞	【スポーツ部門】女子競走部
	【文化部門】ロボット研究会
優秀団体賞	弓道部
	硬式野球部
敢闘団体賞	サイクリング愛好会
奨励団体賞	硬式テニス部
	軟式野球部
	漫画研究会
	模型研究会